

研究課題番号	1-2306
研究課題名	連続監視と網羅分析による水質事故の検知・対策手法の開発と流域モニタリングの最適化
研究実施期間	令和5年度～令和7年度
研究機関名	国立保健医療科学院
研究代表者名	小坂 浩司

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

研究全体として、年度計画に明記された項目を達成されているだけでなく一部は前倒し実施された。個々のサブテーマでは、分析法の高度化とその適用性評価等、水質事故対応のための重要要素研究も現場との連携を図りつつ着実に進められ、多くの有用な知見が得られていることは高く評価される。しかし、さまざまな対象（水源、施設、環境など）、対応のフェーズ（緊急対応か、長期的な対策か）などが混在し、現段階では各サブテーマ間の有機的な連携がまだ不明瞭なようにも見受けられる。最終的に、どのような社会実装を目指そうとするのかを明確にし、課題全体の成果が総合的に実応用面でより価値を発揮できるようにまとめられることを期待する。